

【週刊タバコの正体】

Vol.36 第8話～第10話

2017/03 和歌山工業高校 奥田恭久

■Vol. 36

(No. 500) 第8話 視覚にも影響する

—タバコは視覚にも悪影響を与えます。—

タバコを吸うと味覚や嗅覚に影響がでる事を知ってもらいました。タバコの煙に直接さらされる舌や鼻が、そのダメージを受ける事は簡単に予想できますよね。ところが、一見まったく関係がなさそうな眼がダメージを受けるなんて想像できるでしょうか。じつは左下図にあるように、...

(No. 501) 第9話 おもてなし

—「タバコのない五輪」も”おもてなし”のひとつ。—

公共の施設や敷地のほとんどが禁煙となっている現在、タバコの煙やニコイに遭遇する機会は少なくなっています。そして禁煙の職場が増えているので、喫煙者の数も年々減少してきています。昨年(2016年)の喫煙者率は下表のように、男女を合わせて19.3%でした。大人が100人集まれば、そのうち喫煙者は19人しかいないのです。

(No. 471) 第10話 タバコの国際価格

—日本のタバコは国際価格に比べ、かなり安い。—

2020年の東京オリンピックに向けて色々な分野で、その準備が進められています。そのなかには「タバコのない五輪」を目指す準備も含まれていますが、世界じゅうから大勢の人々が訪れることになる日本のタバコ事情は、国際的に見てどうなのでしょう。



タバコを吸うと味覚や嗅覚に影響がでる事を知ってもらいました。タバコの煙に直接さらされる舌や鼻が、そのダメージを受ける事は簡単に予想できますよね。ところが、一見まったく関係がなさそうな眼がダメージを受けるなんて想像できるでしょうか。じつは左下図にあるように、視野の中心がぼやけて薄く見えたり、ぼやんで見えたり、部分的にみけて見えたりする「加齢黄斑変性」という病気と喫煙は関係があるのです。

私たちは眼の網膜に届いた光をもとに脳で画像に変換されたものを見ていますが、光が集まってくる網膜の中心に黄斑と呼ばれる、5~2mm程度の部分に黄斑があると、このような症状がでるのです。この病気の原因は、黄斑にある毛細血管が詰まって血液が流れなくなる事がきっかけとなることが多いです。50歳以上になると発症する事が多く、特に喫煙による酸化ストレスが眼に蓄積すると発症のきっかけとなると言われています。だから、加齢黄斑変性症の予防には禁煙が非常に重要なのです。

もちろん喫い始めなければ良いのですが、タバコは視覚にも影響を及ぼす事を知っておいてください。

産業デザイン科 奥田 恭久
Zero Tobacco Project
In WAKO Since 2005

「週刊タバコの正体」500号発行

和歌山県立和歌山工業高校 奥田恭久



創刊から数えて500話となりました。地方の一高校で生徒の喫煙をやめさせたい思いで始めた一枚のプリントでしたが、これだけの回数になるまで続けることになるとは想像していませんでした。しかも、このように日本禁煙科学会のHPを通じて全国に発信させて頂いている事を12年前には夢にも考えていませんでしたが、タバコの害を無くそうと願う多くの人々の思いのおかげだと感じています。僣越ながら読者の皆様に感謝申し上げます。

現在、タバコを必要としない若者が着実に増加していますが、タバコの害を無くすにはまだまだ大きな課題が残っています。その解決にむけ「タバコの正体」を続けることで少しでもお役に立ちたいと思っています。(2017.03.07)

毎週火曜日発行



URL: http://www.jascs.jp/truth_of_tobacco/truth_of_tobacco_index.html

※週刊タバコの正体は日本禁煙科学会のHPでご覧下さい。
※一話ごとにpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。
※HPへのアクセスには右のQRコードが利用できます。

